

単元名 しつもんをしあって、くわしく考えよう

配当時間 8時間

単元の目標 (1) 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて適切な言葉を使うことができる。
(2) 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。
(3) 話を集中して聞いて内容を捉え、質問や感想を述べようとする。

標準的な展開例

02010117_001

【教材名】 あったらしいな、こんなもの (上 P. 86～P. 89)

【準備等】 教師の考えたあったらしいなと思う道具の絵、絵を描く画用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。 ★「あったらしいなこんなもの」発表会に向けて準備をしよう。 ○教師が例示する「あったらしいな」と思う道具を聞き質問をする。</p> <p>○学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。</p> <p>2 「あったらしいな」と思うものを考える。 ★あったらしいなと思うものをかこう。 ○「あったらしいな」と思うものを発表する。</p> <p>○「あったらしいな」と思うものを考えて、絵に描く。</p> <p>3～6 ペアで質問し合い、考えを明確にする。 ★質問をして、詳しく発表できるようにしよう。 ○考えた道具の形や色、大きさ、働き、あったらしいと思うわけについてペアで質問し合う。</p> <p>7 グループで発表会をする。 ★「あったらしいなこんなもの」発表会をしよう。 ○グループで自分の考えた道具を発表する。</p> <p>○聞いた人は、感想を伝える。</p> <p>8 学習の振り返りをする ★発表や質問をするときに大事なことを考えよう。 ○丁寧な言い方と普通の言い方は、どのように使うのか話し</p>	<p>・絵を提示し、イメージを持ちやすくする。</p> <p>・質問しやすい道具を提示し、質問をすることで道具の説明がより詳しくなることに気付かせる。</p> <p>・教科書 (P. 5) 「一年生の まなびを たしかめよう」で、話すとき、聞くときに気を付けることを確認させる。</p> <p>・個人で考えるときの参考になるように、いくつかの例を挙げておく。</p> <p>・教科書 (P. 86) の挿絵も参考にさせるとよい。</p> <p>・道具の効果について、短い言葉で絵の近くに書き添えさせる。</p> <p>・発想の面白いものやユニークなものは積極的に紹介し、考えるヒントにさせる。</p> <p>・道具が詳しくなるには、どのようなことが分かるとよいかを発表させ、質問することの視点を与えるとよい。</p> <p>・音声CDや、教科書 (P. 88～89)、二次元コードの動画「ふたりでしつもんしあう」を参考にするなどして、詳しく聞くために気を付けることを確認させる。</p> <p>・ペアの組み合わせを変えて、何回か質問できるようにする。</p> <p>【評】 道具についての質問をする活動を通して友達を発表を聞き、質問したり答えたりしようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・質問に対する答えをメモさせておく。</p> <p>【評】 ペアで質問し合う活動を通して、伝え合うために必要なことを考えて質問する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・自分の描いた道具の絵を見せながら発表させる。</p> <p>・「です」「ます」などの丁寧な言い方で発表や質問、感想を伝えさせる。</p> <p>・発表は、原稿を読むのではなく、メモを参考に発表させる。</p> <p>【評】 道具の発表をする活動を通して、丁寧な言い方で発表をする「知識・技能」を評価する。</p> <p>・感想だけでなく、質問をしてもよいことを伝える。</p> <p>・詳しくなつて分かりやすかったところなどを感想で伝えられるように声を掛ける。</p> <p>【評】 感想の発表を通して、話の内容を落とさずに聞き、内容を捉えて感想を伝える「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・聞き手の印象や場面を比較させ、どんな違い</p>

し合う。
○ 発表したり, 質問したりするときに大事なことを確認する。

○ 学習を振り返る。

があるのか気付かせる。
・ 教科書(P. 89)「たいせつ」を参考に, 話す人の考えを詳しく聞くため, 自分がどのような質問をしたのかまとめさせる。
・ 次に質問をする機会があればどのようなことに気を付けたいかも考えさせるとよい。
・ 教科書(P. 89)「ふりかえろう」で, 振り返りをする。

【 備 考 】